

令和三年度

安全衛生に係る岡山労働局長表彰式

令和3年9月29日

次 第

開 式

岡山労働局長 表彰

岡山労働局長 挨拶

受賞者代表のお礼の言葉

閉 式

令和3年度 岡山労働局長表彰受賞者名簿

○優良賞（安全確保対策）

（地域の中で、安全衛生に関する水準が特に優秀で他の模範であると認められる事業場に対する表彰）

井原精機株式会社 笠岡工場（笠岡市：自動車・同付属品製造業）

○奨励賞（健康保持増進等）

（地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組みが他の模範であると認められる事業場に対する表彰）

パナソニック吉備株式会社（岡山市：電気機械器具製造業）

○奨励賞（安全確保対策）

（地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組みが他の模範であると認められる事業場に対する表彰）

東洋コルク株式会社 岡山工場（赤磐市：無機・有機化学工業製品製造業）

鹿島建設株式会社（仮称）ロイヤルガーデン桑田町新築工事（岡山市：建築工事業）

○団体賞

（地域の中で、安全衛生活動を活発に推進し、関係事業場の安全衛生水準の向上に顕著な功績があった団体に対する表彰）

公益社団法人岡山県医師会（岡山市：その他の事業）

○功績賞

（地域の中で、長年にわたり事業者団体の役員の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人に対する表彰）

きりの きょうじ
桐野 享治（一般社団法人岡山県労働基準協会 元理事・事務局長

岡山県労働基準協会岡山支部 元事務長）

○安全衛生推進賞

（地域の中で、長年にわたり安全衛生関係の業務に従事し、地域、団体又は関係事業場の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をした個人に対する表彰）

やまだ たいじ
山田 泰二（水島地区安全衛生協力会連絡協議会 会計監査および事業推進部会委員

ピーエス水島構内安全協力会 元会長）

こじま まさし
小島 正視（建設業労働災害防止協会 岡山地区安全指導者）

たけだ しずえ
武田 静枝（独立行政法人労働者健康安全機構岡山産業保健総合支援センター産業保健相談員）

安全衛生表彰のポイント

○優良賞（安全確保対策）

事業場名：井原精機株式会社 笠岡工場

業 種：自動車・同付属品製造業

労働者数：208人

受賞理由（ポイント）

トップによる基本方針の表明を受け事業場全体としての安全衛生計画を定めるとともに、グループ単位でも年間活動計画を定め事業場全体で安全衛生計画を遂行するための活動を活発に実施しています。

リスクアセスメントは、必要時期とは別に、毎年6月に職場ごとに実施し同月に実施する事業場幹部による安全パトロールでリスク低減措置の実施状況を継続的に確認しています。

新入社員には、はさまれ・巻き込まれ災害を体験できる「安全体験記により危険体験をさせ、危険感受性を高める工夫をしています。

厚生労働省の「あんぜんプロジェクト」に参加し、働く人に安全な職場づくりのための努力を日々行っています。

○奨励賞（健康保持増進等）

事業場名：パナソニック吉備株式会社

業 種：電気機械器具製造業

労働者数：84人

受賞理由（ポイント）

トップによる基本方針の表明を受け、年間計画に基づいて安全衛生活動が行われています。

過重労働防止対策として、長時間労働にかかる面接指導の基準を45時間としています。

メンタルヘルス対策として、ラインによるケアおよび産業衛生スタッフによるケア体制の確立、相談窓口の設置、「1on1」面談による労働者と上司間のコミュニケーション作りを実践しています。

毎年行うストレスチェックの際に集団分析を実施し、働きやすい職場づくりに活用しています。屋内を全面禁煙とするとともに屋外に喫煙所を設置し、空間分煙を講じています。

快適職場推進計画に基づいて、車いす利用労働者のためのバリアフリー化を実施しています。

○奨励賞（安全確保対策）

事業場名：東洋コルク株式会社 岡山工場

業 種：無機・有機化学工業製品製造業

労働者数：43人

受賞理由（ポイント）

トップによる安全宣言の表明を受け、年間計画に基づいて安全衛生活動が行われています。

ヒヤリハット・気がかり報告においては報告者やグループメンバーで「なぜなぜ安全解析」を行いリスクアセスメントに生かしています。

安全衛生推進委員会においては、工場長、安全衛生推進者以外のメンバーを開催ごとに入れ替えることで、労働者が安全に対する意識づけができるよう工夫しています。

○奨励賞（安全確保対策）

事業場名：鹿島建設株式会社（仮称）ロイヤルガーデン桑田町新築工事

業 種：建設工事業

労働者数：17,600人（延べ人数）

受賞理由（ポイント）

朝礼において、「デジタルサイネージ」を導入して災害事例や安全パトロールの結果を投影し、作業員に分かりやすく説明していました。

搬入車両荷台上での作業時における「ケガ低減マット」と「昇降タラップ」の使用を徹底し、墜落・転落防止対策を講じていました。

図解による解説付きの教育資料（安全ダイジェスト）を用いて安全衛生教育を行っていました。

○団体賞

団体名：公益社団法人岡山県医師会

受賞理由（ポイント）

事業活動計画に基づいて地域の産業医や地域医療機関、岡山労働局、地域の医師会との連携により労働衛生に関する情報の共有を図っております。

計画的かつ継続的に産業医学研修事業を主催し、地域の産業医の労働衛生水準の向上に努めています。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、令和2年4月には感染症相談センター開設し、医師会長の記者会見を頻繁に行うなど事業場等に対する情報を発信し、職場でのクラスター防止に努めてきました。

働き方改革への取組にあたっては、関連法の改正内容を会員に周知し、特に産業医・産業保健機能の強化に関する改正については、会員に協力するなど積極的に働き方改革の推進に協力しています。

○功績賞

桐野 享治（一般社団法人岡山県労働基準協会 元理事・事務局長；岡山県労働基準協会 元事務長）

受賞理由（ポイント）

長きにわたり社団法人岡山県労働基準協会の職員として、労働安全衛生法に基づく各種技能講習、安全衛生講習等の開催に関する実務に従事し、管理者になってからは岡山県内8支部の統括指揮を行うとともに、安全及び衛生管理講習会、支部に設けたプレス協議会等各種災害防止協議会の定着に尽力し、平成29年には他団体との協賛で、「化学物質リスクアセスメント推進大会」を全国で初めて開催、約700名の参加者を集めて成功させました。

○安全衛生推進賞

山田 泰二（水島地区安全衛生協力会連絡協議会 会計監査および事業推進部会委員
ピーエス水島構内安全衛生協力会 元会長）

受賞理由（ポイント）

長年にわたり水島地区安全衛生協力会連絡協議会において、事務局である岡山県労働基準協会と各種特別教育等の共催、優良事業場見学会、年末年始労働災害防止決起大会、災害事例検討会、アドバイザーによる安全衛生巡回指導等様々な活動を展開してきました。特に、災害事例検討会においては、全体のリーダーを引き受け、討議の指導を17年間に渡り実施してきました。そして、優良事業場見学会においても、他県の優良事業場への交渉を行ってきました。

さらに、所属会社がクレーンリース業であることから、自社の移動式クレーンを用いて実地安全研修を実施しました。加えてクレーンメーカーへ専門家の派遣を依頼し、安全講習も実施しました。

○安全衛生推進賞

小島 正視（建設業労働災害防止協会 岡山地区安全指導者）

受賞理由（ポイント）

建設業労働災害防止協会本部からの委託で定期的に会員事業場が施工する建設現場をパトロールし、建設業労働災害防止規定に基づく指導を通じて地域の建設事業者の安全衛生管理水準の向上に寄与するとともに、他の労働災害防止団体が展開する運動等にも協力、支援を行っています。

平成30年の安全衛生管理レベルアップ集中講座あんぜん塾において、労働基準監督署からの要請を受けてパネリストとして登壇し、県内事業場の安全水準の向上に寄与しました。

○安全衛生推進賞

武田 静枝（岡山産業保健総合支援センター 産業保健相談員）

受賞理由（ポイント）

長年にわたり、岡山産業保健総合支援センターの産業保健相談員として、労働者や事業場の安全衛生担当者等に対しカウンセリングを行うとともに、事業場の相談窓口担当者や看護師等産業保健スタッフに対し、数多くの研修を実施することで職場のメンタルヘルス対策の推進に大きく寄与しました。